

イメージ コントロール サービス

フリー トライアルをお試しください
www.messagelabs.co.jp

メッセージラボの特徴

- 独自のマルチレイヤ構造のイメージコントロール サービス、高い精度でわいせつ画像を検知
- シンプルな管理者用ウェブツールと簡単な手順でスムーズな設定作業
- メールに添付または埋め込まれている画像、および添付されている Microsoft Office® ドキュメント内の画像もスキャン
- ローカルおよびグローバル レベルの画像データベースを使用して、スキャン処理のパフォーマンスを向上
- サービスをバイパスできる送信者および受信者の指定も可能
- コンテンツ コントロール サービスと併用することによって、より厳格なメール管理が可能

アナリストからの評価

メッセージラボは、ガートナー社によるメール セキュリティ バウンダリのマジック クアドラントで 2006 年に“リーダー”に選出されました。ガートナー社が定義する“リーダー”とは、現在の業績が好調であり、市場の方向性について明確なビジョンを持っており、その市場におけるリーダーとしての地位を維持することに努めているベンダのことです。

出典：『Gartner Magic Quadrant for E-mail Security Boundary, 2006』
(執筆： Peter Firstbrook 他、発行日： 2006 年 9 月 25 日)

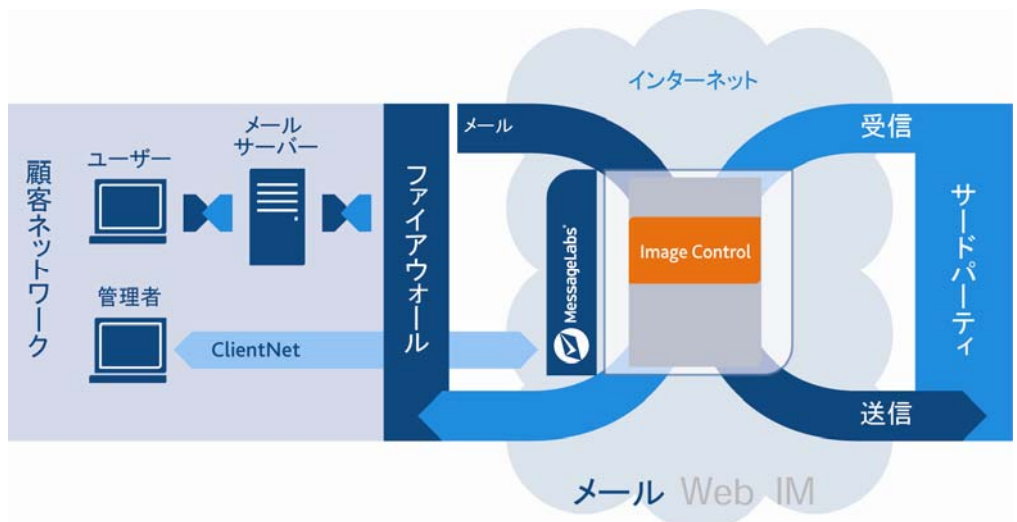
不快で不適切な画像を確実にブロックしていますか

社内のコミュニケーションを円滑化するうえでメールの重要性はますます高まっていますが、一方で、社内ネットワークと外部の間で送受信されるすべてのメールの内容を管理することも、コンプライアンスの観点から極めて重要なポイントとなって来ています。メールの内容を管理できていない場合、わいせつな画像などを含むメールが、管理者の知らない間に、社内ネットワーク上を流れたり社外に送信されたりするおそれがあります。

このようなメールが社外に流れた場合、あなたの会社のブランド、評判、生産性などに重大な影響がおよぶ可能性があり、また、問題に対処するために貴重な時間や多大なリソースを割かなければならないケースも出て来ます。さらに、セクシャル ハラスメントなどに関する法規が順守されなかった場合、訴訟を起こされたり罰金を科せられたりするリスクもあります。その結果、最終的には顧客の信頼を失い、取引を停止される可能性もあるでしょう。

メッセージラボのイメージ コントロール サービスを利用すれば、すべての送受信メールに含まれる画像を監視し、適切に処理しますので、様々なリスクを未然に防ぐことができます。もちろん、セットアップと運用は容易に行え、コスト対効果にも優れています。

わいせつ画像に対処するための、メッセージラボの業界最高水準のソリューション



イメージ コントロール サービスではマルチレイヤ型フィルタリング テクノロジーが採用されているので、最先端の画像シグネチャリングを行うことができます。このサービスは、ニーズに合わせて自由にカスタマイズできます。また、適切な使用ポリシーを作成して適用することができます。これにより、社員のメール使用方法を制限し、業務を効率化することができます。

イメージ コントロール サービスには、高度なイメージ コンポジット アナリシス (ICA) 機能が備わっています。ICA は、わいせつ画像を高い精度で検知できる機能であり、顔認識、姿勢解析、質感解析、肌色解析などさまざまな画像フィルタリング アルゴリズムが使用されます。

このサービスのしくみ

- ユーザ企業は、自社の MX (Mail Exchange) レコードをメッセージラボに移設
- 外部との送受信メールはすべてメッセージラボに配信され、スキャン
- 管理者はウェブツールで利用ポリシーに合わせてルールを作成し、重大度を決定
- 業務内容や職種に基づいて、イメージコントロールサービスをバイパスできる送信者および受信者を指定
- 自社固有の画像をローカルレベルの承認画像データベースおよびブロック画像データベースに登録
- ルールが適用されたメッセージに対して、さまざまなアクションを実行 (ブロックして削除、管理者にリダイレクト、コピーを管理者に送信、ヘッダーにタグを付加、件名行にタグを付加、ログファイルへの記録のみ)
- ルールが適用されないメールは、通常どおり本来の受信者に送信

サービス レベル アグリーメント

イメージコントロールサービスでは、次に示す業界最高水準の SLA (サービスレベルアグリーメント) が提供されています。

- サービス稼働率: 100%
- メール配信遅延: 平均 60 秒以内
- テクニカルサポート/障害対応: 重大な用件、重要な用件、および重要でない用件に対するそれぞれの応答時間を保証

メッセージラボ ジャパン株式会社

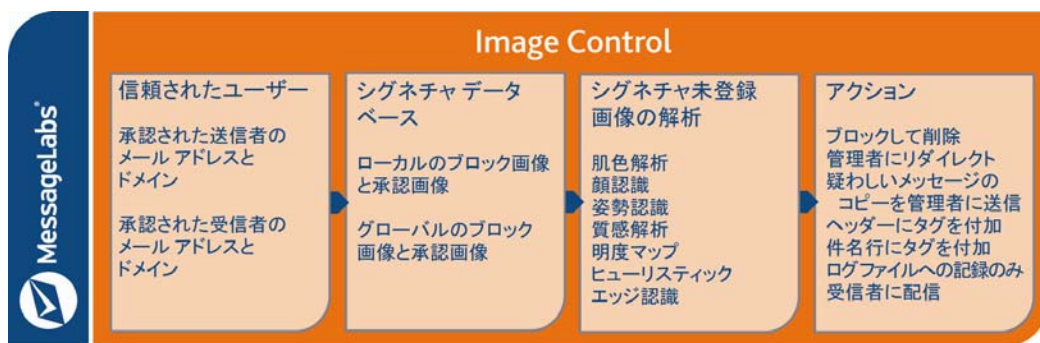
各国のオフィスと電話番号については、メッセージラボのウェブサイトをご覧ください。

www.message-labs.co.jp
mlj_sales@message-labs.com

ICA による解析結果は高度な採点システムに送信され、この採点システムによって画像の全体的な許容度が判定されます。管理者はイメージコントロールサービスを利用することにより、承認またはブロックされた画像シグネチャをローカルデータベースに登録できます。これにより、適切な画像と不適切な画像をローカルレベルで柔軟に管理できるので、信頼できる画像や合法的なビジネス使用の画像などを外部に送信できます。

管理者は、メッセージラボによって管理されている画像シグネチャ、およびメッセージラボのユーザーコミュニティから提出された画像シグネチャが登録されているグローバルデータベースを使用することもできます。グローバルデータベースを併用すれば、画像スキャン処理の精度をさらに高めることができます。

承認済み送信者リストおよび承認済み受信者リストには、イメージコントロールサービスをバイパスしてメールを送受信できる、内部および外部の個人を登録することが可能です。



イメージコントロールサービスの機能とメリット

機能	メリット
マルチレイヤテクノロジーによって、わいせつ画像や不適切な画像が含まれているメールを検知	社員が不適切なメールを送信しないようにすること、利用ポリシーを適用すること、法規を順守することが可能
高精度の ICA スキャンエンジンは細かな設定が可能	管理者が、重大度と適用すべきアクションを決定することが可能
メールに添付、または埋め込まれている Microsoft Office® ドキュメント内の画像をスキャン	管理者は、さまざまな形式のファイルに対して画像スキャン処理を有効にすることが可能
承認済み送信者および受信者リストはカスタマイズが可能	管理者は、イメージコントロールサービスをバイパスしてメッセージを送受信できる内部ユーザーおよび外部ユーザーを指定することが可能
カスタマイズ可能な画像シグネチャのローカルデータベース	管理者は、ブロック画像シグネチャと承認画像シグネチャに関する、社内固有のリストを保守することが可能
メッセージラボによって管理されている、ユーザーコミュニティ用のグローバルデータベースを利用可能 (オプション)	管理者は、メッセージラボのグローバルレベルの画像コミュニティによってサポートされている、シグネチャのデータベースを利用可能
ダッシュボード、サマリー、および詳細な定期レポート	可視性、アカウントビリティ、確実性を備えたサービスの効果